



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月27日

上場会社名 エムケー精工株式会社
 コード番号 5906 URL <https://www.mkseiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年11月2日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 丸山 将一
 (氏名) 酒向 邦明
 TEL 026-272-0601

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年3月21日～2021年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	12,227	1.9	686	15.3	754	13.1	443	10.9
2021年3月期第2四半期	12,002	0.8	811	29.7	867	34.1	497	34.1

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 575百万円 (15.3%) 2021年3月期第2四半期 679百万円 (84.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	30.48	
2021年3月期第2四半期	34.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	26,543	12,426	46.8	852.30
2021年3月期	25,113	11,950	47.6	821.90

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 12,426百万円 2021年3月期 11,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		8.00	8.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年3月21日～2022年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	0.5	950	37.0	950	40.9	550	5.4	37.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	15,595,050 株	2021年3月期	15,595,050 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	1,015,311 株	2021年3月期	1,055,223 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	14,554,577 株	2021年3月期2Q	14,539,827 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により緊急事態宣言が断続的に発出され、社会活動が制限されるなど、厳しい状況が続きました。先行きについては、ワクチン接種の進展、各種政策効果や海外経済の改善など、景気の持ち直しが期待される一方、感染拡大による下振れリスクの高まりには十分注意する必要があり、依然として不透明な状況にあります。

当社グループが関連する業界におきましては、移動制限や各種イベントの中止・縮小など、営業活動の制限を余儀なくされ、また世界的な半導体の供給不足による生産活動への影響が懸念されるなど、厳しい経営環境が続いております。

こうした状況のもと当社グループは、お客様、お取引先はもとより、社員及びその家族をはじめとする全てのステークホルダーの皆様の安全と健康を最優先に、新型コロナウイルス感染防止策を講じ、テレワークやオンライン会議の積極的な活用、対面からオンラインによる営業活動の推進など、継続して「新しい働き方」の定着に取り組んでまいりました。

中期経営計画の最終年度となる2021年度は、この計画に掲げた方針に基づき、諸施策の取組みを更に深化させ、また外部環境の変化を前提とした強固な経営基盤の再構築を試みながら、「美・食・住」を軸とした次の成長ステージへ向けて、モノづくりとサービスの融合による顧客価値の追求と、需要の変化を見極めた新商品の開発及びサービスのデザイン並びに新たな事業の創出にグループ一丸となって取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は122億2千7百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は6億8千6百万円（前年同期比15.3%減）、経常利益は7億5千4百万円（前年同期比13.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億4千3百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(モビリティ&サービス事業)

主力の門型洗車機は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、SS（サービス・ステーション）向けでは、旺盛な設備投資意欲に支えられ堅調に推移し、カーディーラー向けでは、新車販売の回復基調を受けて設備投資が活発となり、伸長しました。オイル機器は、主にエアコンプレッシャーの需要が回復し、前年同期を上回りました。情報機器では、新型コロナウイルスの影響に改善の兆しが見られない中、SS価格看板の期首の受注残高が減少したことなどを受け、全体では減収となりました。

その結果、売上高は前年同期比9.4%増の87億4千2百万円となりました。

(ライフ&サポート事業)

主力製品の農家向け低温貯蔵庫は、新型コロナウイルスの影響による展示会中止や前年度の反動などで低調に推移しました。電気圧力鍋などの一般家庭向け商品は、前年顕著だった巣ごもり需要に一服感が見られ低調に推移し、保冷米びつは、ベトナム（ホーチミン市）にある海外拠点が、ロックダウンの影響により生産が制限され、大幅に入荷が遅れました。また、音響関連は、前年同期のような新商品特需がなく、売上げが伸び悩みました。一方、食品加工機は、海外市場では、一部地域で経済活動の再開により販売は徐々に回復傾向にあり、伸長しました。

その結果、売上高は前年同期比10.4%減の27億1千万円となりました。

(住設機器事業)

住設機器としては、主に木・アルミ複合断熱建具、反射板式消音装置、鋼製防火扉等を製造・販売しております。政府のカーボンニュートラル宣言を受けて、脱炭素化によるグリーン社会の実現を目指す動きが加速する中、木材利用に関心を集め当社製品の採用も増加傾向にありますが、コロナ禍に起因する木材の供給不足や価格高騰（いわゆる「ウッドショック」）、また鋼材など建築資材の価格高騰や納期遅延による工期の延長などで、前年同期を下回りました。

その結果、売上高は前年同期比24.0%減の7億2千1百万円となりました。

(その他の事業)

保険代理業、不動産管理・賃貸業及び長野リンドンプラザホテルの運営に係るホテル業が主体となります。ホテル業は、大都市圏を中心に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が継続される中、感染防止策を徹底し、安心安全な宿泊サービスの提供に注力してまいりました。コロナ禍による厳しい環境が続いておりますが、徐々に開催されるようになった各種スポーツ大会やイベントにより宿泊需要がやや持ち直し、売上げは前年同期を上回りました。

その結果、売上高は前年同期比48.3%増の5千3百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ14億3千万円増加し265億4千3百万円となりました。流動資産は15億8千6百万円増の158億2千1百万円、固定資産は1億5千6百万円減の107億2千2百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴いたな卸資産が14億7千3百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ9億5千4百万円増加し141億1千7百万円となりました。流動負債は5億8百万円増の107億5千万円、固定負債は4億4千6百万円増の33億6千6百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が5億5千2百万円増加したことと、長期借入金が4億5千4百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ4億7千5百万円増加し、124億2千6百万円となりました。これは主に利益剰余金が3億2千7百万円増加したことと、為替換算調整勘定が1億1千9百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ2億7千4百万円減少し、15億3千1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1千6百万円（前年同期は5億2千7百万円の使用）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益7億5千4百万円を計上したことや仕入債務の増加額5億4千9百万円により資金が増加した一方、たな卸資産の増加額14億5千万円により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4億円（前年同期比1億8千5百万円の増加）となりました。主な要因は、定期預金の払戻による収入12億5千4百万円により資金が増加した一方、定期預金の預入による支出15億1千2百万円や有形固定資産の取得による支出1億2千5百万円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、7千9百万円（前年同期比9億4千万円の減少）となりました。主な要因は、長期借入れによる収入10億5千万円により資金が増加した一方、短期借入金の純減額3億7千万円、長期借入金の返済による支出3億9千3百万円及び配当金の支払額1億1千6百万円により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年4月28日発表の「2021年3月期決算短信」に記載しております業績予想から変更はございません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,474,349	3,485,057
受取手形及び売掛金	5,515,664	5,670,764
商品及び製品	1,860,639	2,290,240
仕掛品	1,305,778	1,839,788
原材料及び貯蔵品	1,778,099	2,287,757
その他	315,599	260,286
貸倒引当金	△15,319	△12,280
流動資産合計	14,234,811	15,821,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,737,838	1,758,394
機械装置及び運搬具(純額)	352,025	325,347
土地	3,523,229	3,523,229
その他(純額)	714,574	612,767
有形固定資産合計	6,327,668	6,219,738
無形固定資産		
のれん	877,572	767,173
その他	989,075	948,632
無形固定資産合計	1,866,648	1,715,806
投資その他の資産	2,684,221	2,786,532
固定資産合計	10,878,538	10,722,076
資産合計	25,113,350	26,543,692

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,083,477	1,635,756
短期借入金	3,120,000	2,750,000
1年内返済予定の長期借入金	679,613	881,882
未払金	3,742,477	3,874,477
未払法人税等	523,907	307,689
賞与引当金	499,357	523,873
引当金	154,633	154,633
その他	439,077	622,598
流動負債合計	10,242,542	10,750,910
固定負債		
長期借入金	1,993,911	2,448,324
退職給付に係る負債	175,898	188,504
その他	750,646	729,629
固定負債合計	2,920,455	3,366,457
負債合計	13,162,998	14,117,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,947,095	2,945,473
利益剰余金	5,749,370	6,076,712
自己株式	△492,406	△473,782
株主資本合計	11,577,611	11,921,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	399,493	424,269
繰延ヘッジ損益	2,119	—
為替換算調整勘定	△89,543	30,277
退職給付に係る調整累計額	60,670	49,820
その他の包括利益累計額合計	372,739	504,366
純資産合計	11,950,351	12,426,323
負債純資産合計	25,113,350	26,543,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)
売上高	12,002,308	12,227,843
売上原価	7,937,168	8,092,061
売上総利益	4,065,140	4,135,781
販売費及び一般管理費	3,253,943	3,449,081
営業利益	811,196	686,700
営業外収益		
受取配当金	22,498	28,598
その他	72,652	71,779
営業外収益合計	95,151	100,378
営業外費用		
支払利息	27,008	20,836
その他	11,809	12,172
営業外費用合計	38,817	33,008
経常利益	867,529	754,069
特別利益		
固定資産売却益	—	1,361
特別利益合計	—	1,361
特別損失		
固定資産除売却損	85	39
投資有価証券評価損	3,606	459
貸倒引当金繰入額	18,040	—
その他	49	—
特別損失合計	21,781	498
税金等調整前四半期純利益	845,748	754,932
法人税、住民税及び事業税	344,218	299,159
法人税等調整額	3,667	12,111
法人税等合計	347,886	311,271
四半期純利益	497,861	443,661
親会社株主に帰属する四半期純利益	497,861	443,661

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)
四半期純利益	497,861	443,661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	209,125	24,775
繰延ヘッジ損益	△3,847	△2,119
為替換算調整勘定	△22,266	119,820
退職給付に係る調整額	△1,716	△10,850
その他の包括利益合計	181,295	131,626
四半期包括利益	679,157	575,287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	679,157	575,287

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	845,748	754,932
減価償却費	291,632	332,732
のれん償却額	148,163	110,398
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11,611	△17,298
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,300	24,516
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△44,054	△46,574
受取利息及び受取配当金	△33,126	△38,874
支払利息	27,008	20,836
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△1,361
有形固定資産除却損	85	39
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,606	459
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,132,784	△131,505
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△713,175	△1,450,673
その他の資産の増減額 (△は増加)	74,477	76,600
仕入債務の増減額 (△は減少)	443,272	549,734
その他の負債の増減額 (△は減少)	△142,445	329,917
小計	△228,282	513,879
利息及び配当金の受取額	33,122	38,871
利息の支払額	△26,979	△20,880
法人税等の支払額	△305,003	△515,016
営業活動によるキャッシュ・フロー	△527,143	16,853
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,302,960	△1,512,975
定期預金の払戻による収入	1,269,508	1,254,932
有形固定資産の取得による支出	△70,767	△125,362
有形固定資産の売却による収入	—	2,133
無形固定資産の取得による支出	△107,439	△27,773
投資有価証券の取得による支出	△3,117	△3,674
貸付金の回収による収入	180	13,897
その他の収入	8,648	4,849
その他の支出	△8,672	△6,136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214,620	△400,109
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,635,000	△370,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△76,878	△90,363
長期借入れによる収入	900,000	1,050,000
長期借入金の返済による支出	△1,320,948	△393,318
配当金の支払額	△116,318	△116,318
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,020,854	79,999
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,686	28,688
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	276,403	△274,567
現金及び現金同等物の期首残高	1,412,172	1,805,974
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,688,575	1,531,407

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響は、不確定要素が多く、今後の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モビリティ& サービス事業	ライフ& サポート事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,991,287	3,026,200	948,860	35,959	12,002,308	—	12,002,308
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,204	255,874	492	91,818	349,389	△349,389	—
計	7,992,492	3,282,074	949,352	127,777	12,351,697	△349,389	12,002,308
セグメント利益又は損失 (△)	1,310,553	148,647	△24,859	△14,767	1,419,574	△608,377	811,196

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△608,377千円には、セグメント間取引消去12,421千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△620,798千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モビリティ& サービス事業	ライフ& サポート事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,742,355	2,710,982	721,173	53,332	12,227,843	—	12,227,843
セグメント間の内部売上 高又は振替高	941	263,258	300	93,508	358,008	△358,008	—
計	8,743,296	2,974,241	721,473	146,840	12,585,852	△358,008	12,227,843
セグメント利益又は損失 (△)	1,397,380	82,397	△127,885	20,844	1,372,736	△686,035	686,700

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△686,035千円には、セグメント間取引消去13,179千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△699,215千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。